

[早良演習林]2. マツ類の造林試験(要因配置による分割試験)

垣内, 重三郎
九州大学農学部附属演習林 : 助手

<https://doi.org/10.15017/1456178>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和38年度, pp.100-100, 1964. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



2. マツ類の造林試験（要因配置による分割試験）

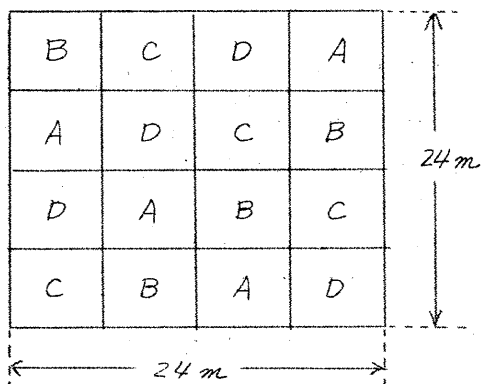
垣内 重三郎

樹種（クロマツ、テーダーマツ、スラッシュマツ）、肥料（マルリンスーパーノ号 45 gr）、土壌（耕作の影響を受けてない赤土）をラテン方格式に組合せた、要因配置による分割試験で実施した。

今後第一年次は活着率、補植活着率、直径成長、樹高成長を測定して、オニ年次より直径成長、樹高成長を測定する予定である。

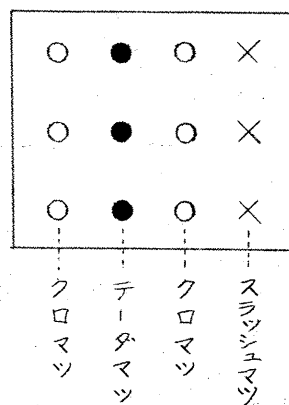
試験方法を図示すれば次のとおりである。

要因配置図



プロット内

苗木植付図



- 注
- A. 施肥と客土区
 - B. 施肥と無客土区
 - C. 無施肥と客土区
 - D. 無施肥と無客土区

D C B A
C D A B
B A D C
A B C D